



光り輝く 未来のために

～よりよい教育環境を目指して～

君津市学校再編

第2次実施プログラム(案)



令和元年 11 月
君津市教育委員会

目 次

第2次実施プログラムについて・・・・・・・・・・・・・・・・	1
--------------------------------	---

I 統合について・・・・・・・・・・・・・・・・	2
--------------------------	---

II 特色ある学校づくりについて・・・・・・・・	3
--------------------------	---

1 小中一貫教育	・・・・・・・・	3
----------	----------	---

2 コミュニティ・スクール	・・・・・・・・	4
---------------	----------	---

3 キャリア教育	・・・・・・・・	5
----------	----------	---

III 適正規模・適正配置を目指して・・・・・・・・	6
----------------------------	---

<関連データ>	・・・・・・・・	7
---------	----------	---

第2次実施プログラムについて

君津市教育委員会では、少子化による児童生徒数の減少や学校の小規模化が進行する中、子どもたちにとってよりよい教育環境の整備を進めるため、平成26年1月から、学校再編に取り組んできました。

この間、地区説明会や保護者を対象とした「小・中学校の適正規模等に関するアンケート」、「学区の見直しに関するアンケート」、中学校合同生徒会、パブリックコメントなど様々な機会を通して保護者や児童生徒、地域、学校関係者などから貴重な意見をいただけてきました。

このように、幅広く市民の方々や関係各方面からの意見等を踏まえながら検討を重ね、平成28年度から令和7年度までの10年間を目標年次とした『学校再編基本計画』を平成28年3月に策定しました。

この基本計画の実施に当たっては、具体的な学校名や実施時期等を示した『実施プログラム』に基づき、推進することとしています。現在、平成29年1月に策定した『第1次実施プログラム』に基づき、学校関係者、保護者、地域代表者で組織された統合準備室を中心に、小糸・清和地区、小櫃・上総地区小中学校の統合に向けた準備を円滑に進めています。

今回の『第2次実施プログラム』は、『第1次実施プログラム』と同様、これまで市民の皆様からいただいた意見や児童生徒数の推計、学校施設の状態や立地、通学における安全面、各学校の課題、地域の実情等を踏まえ、検討を重ね作成しました。

プログラムは、「統合について」、「特色ある学校づくりについて」、「適正規模・適正配置を目指して」の3つの柱で構成され、令和2年度からの周西中学校区と上総小櫃中学校区におけるよりよい教育環境の整備を内容としています。

具体的には、周西中学校区では、大和田小学校・坂田小学校・周西中学校・県立君津高等学校が隣接している立地条件や、世界に誇る鉄鋼企業の所在など、豊富な教育資源を最大限に活かした教育活動を推進していきます。また、上総小櫃中学校区では、活力ある魅力的な学校づくりとともに、広くなった地域の中で住民同士が交流を深め、新たな地域文化の創造など、学校と地域が共に発展し合う教育システムを導入します。

君津地区においては、大和田小学校、坂田小学校のほかにも、適正規模を満たしていない小学校が複数あり、喫緊の課題として捉えています。今後の学校再編については、今回の『第2次実施プログラム』と、統合だけでなく学区の抜本的な見直しなども含む『第3次実施プログラム』により、一体的に進めていきます。

なお、『第3次実施プログラム（案）』は、これまでいただいた市民の方々からの意見などを基に、学区の状況を熟知している学校関係者などと協議・検証をさらに加速させ、令和2年度を目途に公表する予定です。

I 統合について

1 君津地区

対象校	実施年度	使用校舎
大和田小学校 坂田小学校	令和4年度	坂田小学校（令和6年9月頃～） 大和田小学校（～令和6年8月頃）

※統合に伴う坂田小学校校舎改修工事の間、安全面を踏まえ大和田小学校を使用校舎とします。

《経緯》

坂田小学校は、単学級が存在し、今後も児童数に大きな増加は見込まれず、適正規模に満たない見通しとなっています。大和田小学校は、鉄鋼企業の大和田社宅が再整備されているものの、他区域において児童数が減少している状況です。また、両校は学校間の距離が近く、それぞれが学区の中央に位置しています。これまで保護者や地域関係者等から寄せられた様々な意見や要望を参考に、教育活動の充実や地域振興などの観点も踏まえた上で総合的に判断し、大和田小学校と坂田小学校を統合することとしました。

《再編の内容》

- 統合にあたっては、これまで各学校・地域で培ってきた文化や特色ある取り組みの継承などにも配慮します。
- 立地条件等を最大限に活用し、小学校・中学校・高等学校で連携を図り、様々な学習を取り入れるなどして、地域を愛する児童生徒の育成や、地域とともに育む学校づくりの視点にも配慮します。
- 通学区域の拡大、通学路の変更があることから、地域と学校の連携を強化し、児童の安全確保に努めます。

【統合後の「学区の弾力化」運用について】

令和2年度から運用する「学区の弾力化」の対象区域とした坂田小学校区である大和田社宅A棟B棟については、統合に伴い対象区域ではなくなります。

なお、東坂田1丁目～4丁目については、統合後も対象区域として維持し、周西小学校への通学も可能です。

Ⅱ 特色ある学校づくりについて

1 小中一貫教育

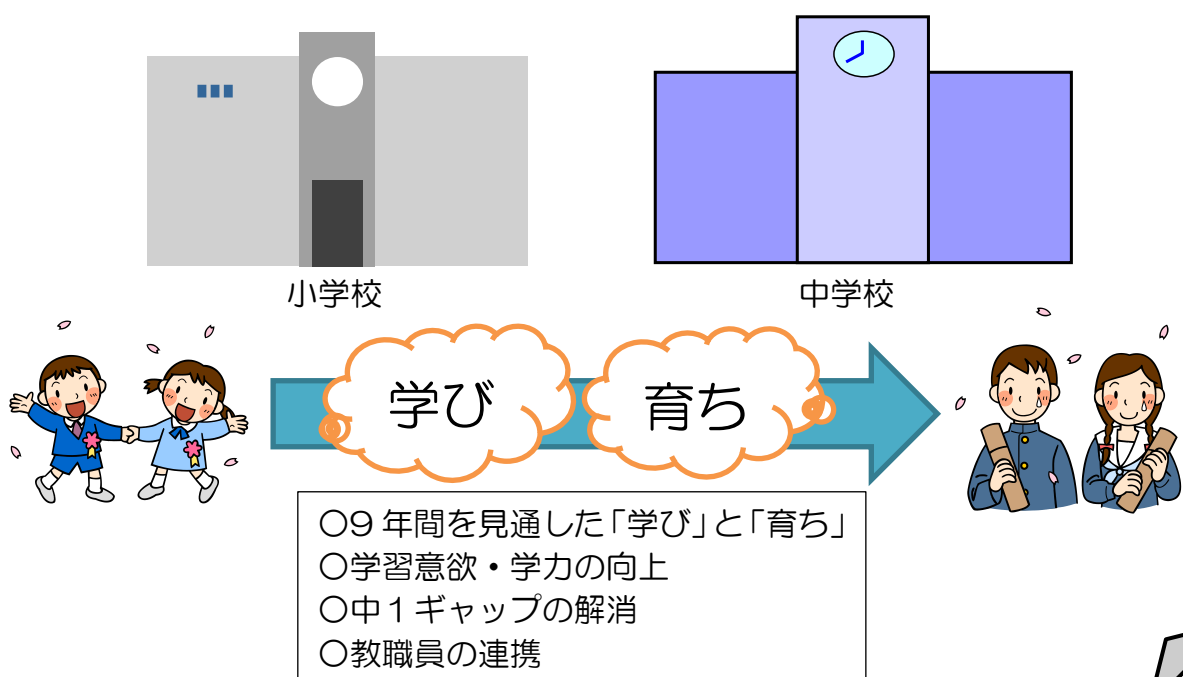
対象校	実施年度	取り組みの概要
周西中学校 統合小学校 (大和田小・坂田小)	令和6年度	周西中学校と統合小学校（大和田小・坂田小）を小中一貫教育校として設置します。

《具体的な取り組み内容》

- ・本市の小中一貫教育の方向性を示す君津市版小中一貫カリキュラムをもとに、教科指導の連続性や小学校から中学校への円滑な接続を図るため、9年間を見通した具体的な取り組みを実施します。
- ・小・中学校が共通の「小中一貫教育目標」や「目指す児童生徒像」を設定します。
- ・中学校教員が小学校で授業を行ったり、小学校教員が中学校でチームティーチングを行ったりして、相互の授業に関わり、きめ細かな指導を行います。
- ・小学1年生から中学3年生までの幅広い異学年での交流により、社会性・協調性を育てます。
- ・立地条件を最大限に活かし、県立君津高等学校や人見こども園と連携した教育を展開します。

施設隣接型小中一貫教育（イメージ図）

小・中学校の円滑な接続

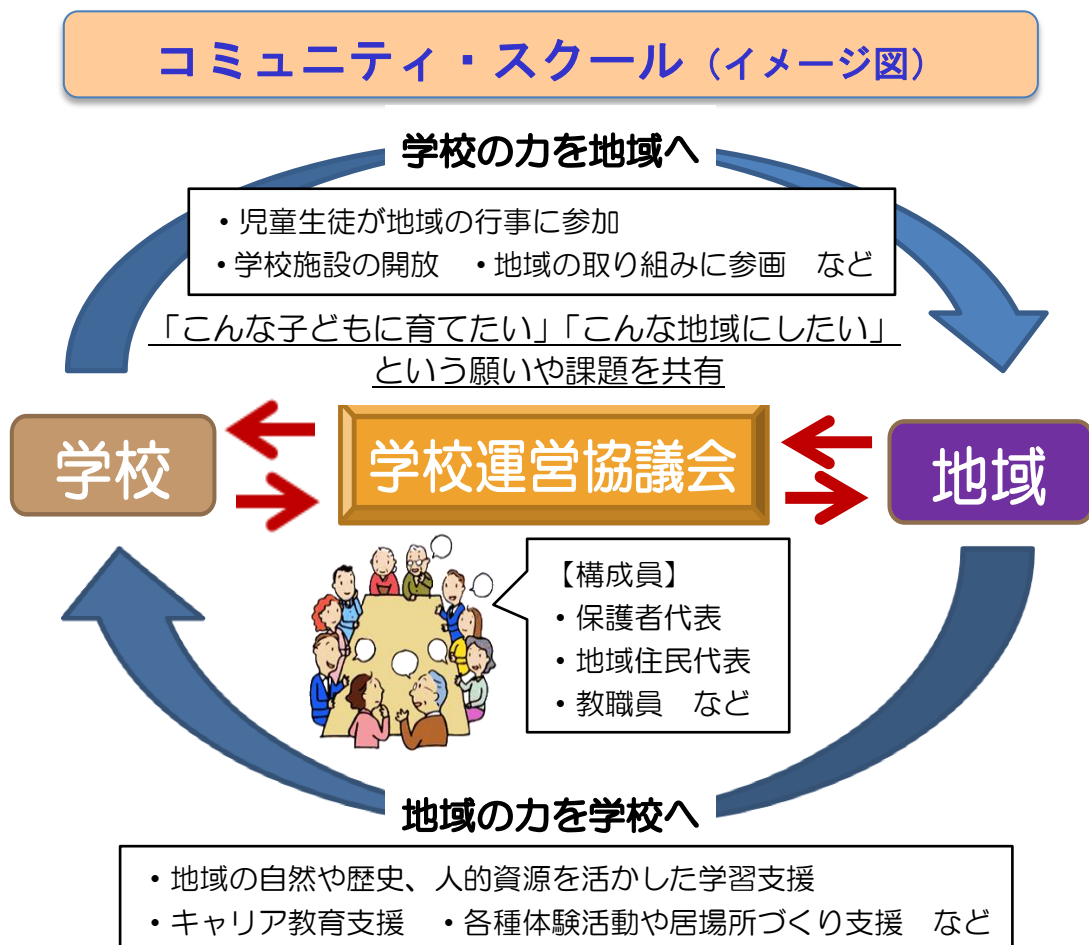


2 コミュニティ・スクール

対象校	実施年度	取り組みの概要
上総小櫃中学校 小櫃小学校 上総小学校	令和4年度	上総小櫃中学校、小櫃小学校、上総小学校をそれぞれコミュニティ・スクールとします。

《具体的な取り組み内容》

- 上総小櫃中学校、小櫃小学校、上総小学校の3校を「コミュニティ・スクール」とします。保護者や地域住民、教職員等で構成される「学校運営協議会」を設置し『地域とともにある学校』を目指します。
- 学校、地域、家庭が協力し合い、子どもたちをどのように育てていくか、学校運営協議会での意見交換を通し、共通理解を深めます。
- 人材やネットワーク等、地域の力を活かした教育活動を展開するとともに、学校や子どもたちの力を地域に活かし地域と学校がともに発展し合う仕組みをつくります。
- 地域コミュニティの拠点としての学校の役割を活かし、様々な活動を通じて、住民同士の交流を進めます。



3 キャリア教育

対象校	実施年度	取り組みの概要
周西中学校 大和田小学校 坂田小学校	令和3年度	周西中学校、大和田小学校、坂田小学校をキャリア教育拠点校として指定します。 大和田小学校・坂田小学校は統合後も継続して拠点校とします。

《具体的な取り組み内容》

- 一貫性のある連続した取り組みで社会的自立を支援します。
- 職場体験学習などで、社会との関わりを持たせる中で、自立と社会参加の意識を育てます。
- 全ての教育活動において、ソーシャルスキルや高い倫理観を身に付けさせるなど、キャリア教育の視点に立った取り組みの充実を図ります。
- 日本製鉄及び関連会社と連携したキャリア教育など、地域の教育力を活かした教育を実践します。

キャリア教育（イメージ図）

